

ディベートとは、論題に対して、賛成と反対の両方の立場から、討論することです。決められたルール、時間に従って議論し、その結果どちらの議論が勝っていたかを判定するゲームです。



ディベートの効果

ディベートをすることによって、次のような効果があります。

- ① 自分の立場をはっきりさせて、計画的に話し合う力が伸ばせます。
 - ② 筋道立てて考える力が伸ばせます。
- 賛成側と反対側の相違点や共通点を検討するために、いろいろな角度から根拠や理由をはっきりさせて考えるので、筋道を立てて考える力が伸ばせます。

ディベートの展開例

- 開会**
- ① 司会者が開始を宣言し、論題を紹介する。

立論および質疑応答

- ② 賛成側が立論する。
- ③ 反対側が質問し、賛成側が応答する。
- ④ 反対側が立論する。
- ⑤ 賛成側が質問し、反対側が応答する。
(作戦タイム) 反論の準備をする。

反論

- ⑥ 反対側が反論する。
- ⑦ 賛成側が反論する。
(作戦タイム) 最終弁論を考える。

最終弁論

- ⑧ 反対側が結論を述べる。
- ⑨ 賛成側が結論を述べる。

判定

- ⑩ どちらが、説得力があったかを判定をする。

閉会

- ⑪ 司会者が結果を報告し、閉会となる。

【論題を決めるとききの留意点】

- ① 身近な問題で、討論する価値があるもの
- ② 賛成と反対の立場がはっきりしているもの
- ③ 身近な問題で、情報が集めやすいもの

【賛成側立論の例】

論題「小学生は、制服にするべきである」



わたしたちは、小学生は制服にするべきだと考えます。理由は、次の三点です。
一つ目は、制服を着ることで、学校の一員としての自覚が出て、マナーがよくなるということです。
二つ目は、制服があれば、何枚も服を持つ必要がないので、お金がかからないということです。
三つ目は、制服は、入学式や卒業式の際に、礼服として使えることです。このように、……後略

【会場配置図の例】

